

ひご野菜ってな～に？

熊本市では、熊本で古くから栽培されてきたものや、熊本の風土に合っているもの、熊本の食文化にかかわるもの、熊本の地名、歴史にちなむもの、といったコンセプトに基づき、15品目の野菜を「ひご野菜」として指定しています。

これらの中には、あまり名前が知られていないものもあるため、ひご野菜を使ったレシピの情報発信やイベント等におけるPRなど、熊本県内外に広く知ってもらう取り組みを行っています。

15品目のひご野菜



熊本市民と農業のふれあい

ファミリー農園(旧市民農園)

土とふれあい、収穫の喜びに接することができ、土づくりや病害虫対策などを通じて「育てる」難しさを実感できるファミリー農園は、農との貴重なふれあいの場です。

ファミリー農園では農家と入園者とが農園利用契約を結ぶ農園利用方式が採用されており、農家自ら管理運営をしています。市は農家から申請を受け付けてファミリー農園として指定し、広報などの支援を行っています。

農園情報は定期的に市ホームページなどでお知らせしています。



(H29年10月1日現在)

区	中央区	東区			西区	南区				北区				合計
農園名	国府本町	花立	桜木	長嶺南	小島	近見	元三町	田尻	城南善町	高平	立田山	鶴羽田	麻生田	
区画数	81	40	48	94	49	63	46	82	81	56	58	67	73	838

◎施設:水道施設のみ ◎1区画の面積:15㎡ ◎入園料:地権者へ直接支払っていただきます。(1区画5千円程度、農園により異なります)
※1区画の面積、入園料は農園によって今後変更される場合があります。

熊本市の農水産業関係イベント

本市では、「暮らしといのち」を守る農水産業を市民の皆さんに身近に感じていただき、共に歩いていくために様々なイベントを開催しています。

◎ 農産物フェア

農産物や花きの一大産地としての熊本をアピールし、市民の皆様に農業にふれあい、親しむ機会を提供することにより、地元農産物の消費拡大を促進し、熊本市の農業の振興を図るため「農産物フェア」を開催しています。



◎ くまもと春の植木市

庭園樹、果樹苗、盆栽、花鉢など様々なものが並び、熊本に春の訪れを告げる風物詩として、また緑の祭典として、九州はもちろん全国にも知られ、県内外から多くの人々でにぎわいます。

植木市の起源は、今から四百数十年前の天正年間(1573～92)に時の隈本(熊本の前身)城主であった城親賢公(生年不明～1581)が始めた市に由来すると伝えられています。



◎ 水産物フェア

熊本でとれたノリやハマグリなどの安全・安心な水産物の販売と本市水産業の紹介を兼ねたイベントを開催しています。

熊本の水産物をアピールし、市民の皆様に実際に食べてもらうことで、地元水産物の消費拡大と本市水産業の振興を図ります。

